

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 漁港漁場整備課長 角 敬 電話番号 0852-22-5316

事務事業の名称	漁場整備事業	
目的	(1) 対象	漁業者及び県民
	(2) 意図	持続的な漁業生産を可能にするとともに、県民に良質な水産物を安定供給する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産資源の回復・増大を図るため、島根県の沿岸・沖合海域に資源の育成・保護に重点をおいた漁場整備を水産基盤整備事業の国庫補助事業を活用し行う。</li> <li>国直轄の日本海西部地区漁場整備事業への地元調整支援と負担金納付</li> <li>市町村が実施する漁場整備にかかる事業経費の2/3を補助する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	整備箇所数	目標値		4.00	4.00	4.00
式・定義	実施箇所数	達成率	実績値	6.00	4.00	4.00	4.00		
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	達成率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義	実績値	達成率	実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	358,243	362,862
うち一般財源 (千円)	19,790	23,948

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・漁場整備は、島根県沿岸海域を大きく2地区（島根、隠岐）に分けて整備を進めている。  
 ・H26年度は目標どおり2地区で4箇所の漁場を整備することができた。H27年度は、3箇所の整備を行う予定。  
 ・H26年度末時点で、島根地区は、整備予定箇所全体で29箇所の内21箇所が完成している。隠岐地区は、整備予定箇所全体で15箇所の内14箇所が完成している。隠岐地区は、H27年度で予定箇所全ての整備が完了する見込み。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・H25年に行った標本船の魚礁利用調査によると、本事業で整備した魚礁の利用率は、全体生産量の概ね6割を占めている。このことから、効率的な操業を支えるとともに、水産物の安定供給につながっている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 隠岐地区の整備予定箇所が完了する見通しであるが、未だ漁業者からの要望が多く、新たな漁場整備計画を検討する必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 全国的に海水温の上昇等で藻場・磯焼けが進んでいる状況
  - 島根県においても同様の状況
  - 藻場、磯焼けにより、水産生物の生息環境が限られてくる。
- ③原因を解消するための「課題」
- 藻場、磯焼け対策も含めた漁場整備

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国は、水産物の生活史に沿った漁場整備を行い海域全体の生産力の底上げを目指している。  
 ・県も、沿岸海域から沖合海域まで、藻場、増殖場、魚礁による面的な水産環境整備を行う必要がある。  
 ・事業予定箇所が完了する隠岐地区の事業計画を策定する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）